ミラータイプドライブレコーダー

HM-061L

取扱説明書

（兼保証書）12V 車専用

higashi

目次

目次 ・・・・・・・・・・・ 2

はじめに ・・・・・・・・・ 3
梱包内容 ・・・・・・・ 8
本体各部名称 ・・・・・ 9
録画画面表示 ・・・・・10
画面表示切替 ・・・・・13
SD カードに関して・・・14
本機の操作について ・・15
SD カードの初期化・・・15

取付方法 ・・・・・・・・18
取付手順を確認する ・・18
シガープラグコードを接続する 19
日時を設定する ・・・・20
取付位置を確認する ・・22
本体を取り付ける ・・・25
本体を取り外す ・・・・26
リアカメラを取り付ける 27
動作を確認する ・・・・29
ﾌｧｲﾙの保護・削除について32
GPS の受信を確認する ・36

録画を確認する ・・・・・37
映像を再生する ・・・・37

映像を撮る ・・・・・・・ 42
電源をオンにする ・・・ 42
電源をオフにする ・・・ 42
映像の記録について ・・ 43

各種設定 ・・・・・・・・ 45
設定方法 ・・・・・・・ 45
設定内容（初期値）一覧 47

駐車監視（オプション） ・ 53

その他 ・・・・・・・・・ 57
よくあるご質問 ・・・・ 57
エラー確認表 ・・・・・ 59
記録時間の目安 ・・・・ 61
カメラ角度イメージ ・・ 61
製品仕様 ・・・・・・・ 62

保証 ・・・・・・・・・・ 64
保証書 ・・・・・・・・ 64

保証規定 ・・・・・・・・ 65

はじめに

この度は本製品をお買い求めいただきましてありがとうございます。
本説明書をよくお読みのうえご使用ください。
ご自身や他の人への危害や損害を未然に防止するため、記載の注意事項を必ずお守りください。いつでも見ることができる所に大切に保管してください。

■安全上のご注意

●取付け・配線またご使用の際は必ず取扱説明書の各ページの内容・注意点をお守りください。誤った取り付け方法や使い方は重大な事故につながる場合があります。
●エアバックの動作に支障が出る場所には取り付け・配線をしないでください。運転者・同乗者に危険が及ぶ場所に取り付けないでください。
●必ず付属の部品や指定の部品をご使用ください。火災・感電・故障の原因となります。
●本製品および付属品を分解・加工しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、分解・加工した製品は保証の対象外になります
●運転者は走行中に操作しないでください。操作する場合は、水平且つ安全な場所に車を止めてから操作してください。
●本製品を水に濡れる場所、火元に近いところ、湿度が高い所やほこりの多い所で、また濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
●落としたり強い衝撃を与えると本機およびデータの破損、故障の原因となります。
●異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常がある場合は使用しないでください。
●本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。
●本製品を医療機器の近くで使用しないでください。影響を与える恐れがあります。

はじめに

●取付け部分の緩みやリアカメラ取付ステーの剥がれがないか、定期的に点検を行なってください。機器の損傷や外れて事故や故障の原因となります。
●micro SD カードを本製品に差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
●micro SD カードは誤飲などの事故がない様、子供の手の届かない場所に保管してください。
●極めて気温の低い所から高い所に移動すると機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
●長期間使用する予定のない車内の直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所で保管しないでください。本体の変色や変形など故障の原因となります。
●本製品は 12V 車専用になります。12V 以外の車では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。(本機はマイナスアース車専用です)
●本機の動作を確かめるための急ブレーキなど、危ない運転はしないでください。
●使用後または、長時間使用しない場合はシガープラグを抜いてください。例えば車種によってはエンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない場合があり、火災やバッテリー上がりの原因になる場合があります。
●本機の電源をオフにしたときに本機のミラーで後方が見えることを確認してください。事故の原因となる場合があります。

はじめに

■ご使用上のお願い

●お車のエンジンをかけて本製品の電源がオンになった後、必ず録画が開始されたことを確認してください。
●取り付けは確実に行ってください。また定期的に取り付けの点検を行ってください。本体の落下による事故や録画できていないなどの不具合が発生する恐れがあります。
●正常に録画されているか定期的に録画した画像を確認してください。また画像は必要に応じてパソコンなどに保管してください。
●本製品は車専用ドライブレコーダーです。それ以外の用途には使用しないでください。流用による不具合等に関しては一切の責任・保証を負いかねます。
●ご自身の使用方法によりプライバシーなどの権利の侵害やイタズラなどによる責任について弊社は一切の責任を負いかねます。
●本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。予めご了承ください。本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データ等の保証は一切の責任を負いかねます。万一のデータ消失に備え、必要なデータは定期的にパソコンなどに保存することをお勧めします。
●事故発生時必ず micro SD カードを抜いて保管してください。本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とし、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など本製品の動作の有無にかかわらず一切その責任を負いません。
●本製品は広角レンズを使用しているため、一部映像のゆがみや影が生じることがあります。広角レンズの特性であり異常ではありません。また使用環境の要因により色味などが多少異なる場合があります。

はじめに

●夏場などの炎天下の中で使用する場合、正常に動作しないことがあります。また、液晶パネルが黒くなる場合があります。特性であり故障でありません。窓を開けるなど車内の温度を下げてからご使用ください。
●サンシェードなどを使用する際は本機をフロントガラスとサンシェードなどの間に挟み込まないでください。熱がこもりやすくなるため、本機の故障の原因になります。
●録画される映像がちらついたり、LED 式信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。(LED 式信号機は高速点滅しているため)また、周囲の環境により信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。そのような場合は周辺の状況や記録された前後データを合わせてご判断ください。
●一部アイドリングストップ車で本製品を使用する場合、稀に再起動現象が起こります。本製品の故障ではなく、アイドリングストップ車の特性によるものになります。
●車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。汚れた場合はやわらかい布などに少量の水を含ませて、軽く拭いてください。
●本製品には製品保証がついていますが付属品など消耗品は保証の対象となりません。（製品保証購入日より 1 年間）
●本製品や付属品の仕様、外観及び本書は改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり記録したデータが破損した場合など本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねます。

はじめに

■micro SD カードの扱いについてのご注意

●エンジンをオンにした状態（通電状態）で micro SD カードの抜差しを行わないでください。SD カードの破損や録画データの破損の原因となります。

●microSD カードの端子部分に手を触れないでください。汚れや異物でデータが損失したり使用できなくなる恐れがあります。

●事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず micro SD カードを抜いて保管してください。

●必ず 1～2 週間に一度、本機で SD カードの初期化(フォーマット)を行ってください。初期化を行うと SD カード内のデータが全て削除されますので必要に応じてパソコンにバックアップをしてから初期化してください。その際パソコン内で SD カード内のデータの削除・移動をしないでください。バックアップはファイルのコピーで行ってください。

●micro SD カードは消耗品です。micro SD カードは繰り返しデータを書き換えることにより消耗しますので寿命があります。micro SD カードを初期化しても SD カードエラーが頻繁に表示される場合は SD カードの買い替えをしてください。

●本機は 16～128GBmicro SD カードに対応しています。Class10 以上で信頼できるメーカーの正規品をお勧めします。新しい micro SD カードを使用する際は必ず本製品で SD カードの初期化を行ってください。（micro SD カードとの相性によりエラーが発生する場合もあります）

●本製品をご使用中、データが消失した場合のデータ等の保証は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

はじめに

梱包内容

ご使用頂く前に、下記の梱包内容が揃っていることをご確認ください。

本体（フロントカメラ）

リアカメラ
(ケーブル付約 8.5m)

車内取付け専用
(防水ではありません)

GPS ユニット
（コード長さ約 1.9m）

付属品：

シガープラグコード（長さ約 3.5m）

固定用バンド（短×2　長×2）

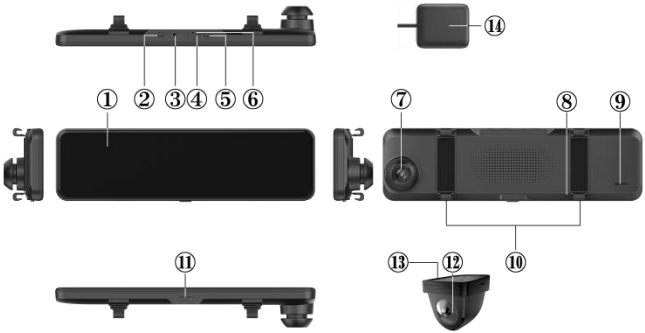
リアカメラ用両面テープ
（予備）

取扱説明書

・本機にはお買い上げの日から製品保証が付いています。ただし、付属品は保証の対象となりません。

はじめに

本体各部名称



番号	名　　称	番号	名　　称
①	モニター	②	リアカメラ接続端子
③	GPS ユニット接続端子	④	SD カードスロット
⑤	電源入力端子	⑥	リセットボタン
⑦	フロントカメラレンズ	⑧	マイク
⑨	スピーカー	⑩	フック
⑪	電源ボタン	⑫	リアカメラレンズ
⑬	リアカメラ取付部(両面テープ付)		
⑭	GPS ユニット		

補足事項

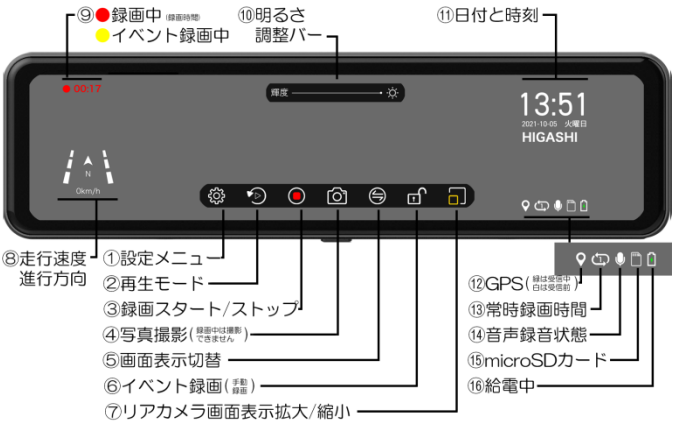
※⑥リセットボタン：フロントカメラが動作しなくなった場合、リセットボタンを先端が細くなっている道具(つまようじなど)で押してください。

※⑪電源ボタン：長押し･･･電源オフ・オン

電源 ON の状態で短押し･･･液晶一時オフ・オン

はじめに

録画画面表示



・操作画面のアイコンは約 5 秒操作しないと消えます。
・録画を停止して設定画面や録画画像の再生画面などで約 30 秒操作しないと自動で録画が再開します。

	名　　称	説　　明
①	設定メニュー	各種設定を行う
②	再生モード	録画した映像を再生する 29 ページ参照
③	録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ	録画の開始・停止
④	写真撮影	タッチするとフロント・リアカメラの映像を撮影する（録画停止中のみ）
⑤	画面表示切替	画面表示を切り替える　13 ページ参照

はじめに

	名　　称	説　　明
⑥	イベント録画	タッチした時点のファイルを「イベント録画フォルダ」に記録する。43 ページ参照
⑦	リアカメラ画面表示拡大/縮小※1	リアカメラの画面表示を拡大/縮小する。52 ページ参照
⑧	走行速度/進行方向	走行速度と進行方向を表示
⑨	録画中(録画時間)/ｲﾍﾞﾝﾄ録画中(録画時間)	●：録画中 ●：イベント録画中 録画時間は設定ﾒﾆｭｰ「常時録画」の設定時間が経過すると 0 に戻り、カウントを再開
⑩	明るさ調節バー	左右にスライドして画面の明るさを調整する。（表示していない場合は画面の明るさ調整バー部分をタッチする）
⑪	日付と時刻	日付と時刻を表示・設定 20 ページ参照
⑫	GPS	GPS 受信状態 緑：受信中　白：受信前
⑬	常時録画時間	設定メニュー「常時録画」の設定値を表示
⑭	音声録音状態	設定メニュー「音声録音」オフの時 で表示
⑮	microSD カード	SD カードが未挿入または SD カードエラーの場合は で表示
⑯	給電中	給電していることを表す

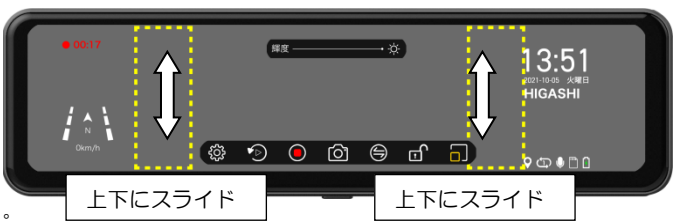
※1：表示範囲を拡大すると解像度は下がり、粗くぼやける映像に見えます。但し、録画は元の解像度のままになります。

はじめに

●画面表示エリア調整

モニターの　　部分を指で上下にスライドするとモニターの表示エリアを調整できます。「フロント・リア画面表示中」は無効です。

※本操作では撮影範囲は変更されません。撮影範囲については 25 ページからの本体の取り付け方法をご参照ください。

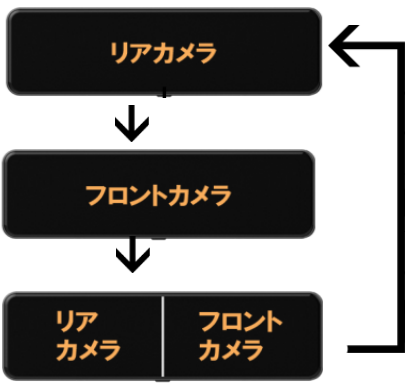


。

はじめに

●画面表示の切換えについて

「 」(画面表示切替)アイコンを押すたびに下記の順番で画面表示を切り替えます。（アイコンが出ていない時は画面を１回押すと表示します）



本操作では電源を切った際には画面表示は保持されず、再度電源を入れると設定メニューの設定内容に戻ります。

設定メニューの「バックミラー」がオンの場合(お買い上げ時)は電源をオンにすると自動で「リアカメラ画面」に切り替わります。（リアカメラを接続していない場合は切り替えできません）

「バックミラー」設定をオフにした場合は設定メニューの「画面設定」の画面表示を保持します。「バックミラー」設定はオンにすることをお勧めします。

※リアカメラの映像は鏡像です。バックミラーで後方を確認したときのような映像がモニターに表示します。再生時の映像はすべて正像になります。設定の変更はできません。

はじめに

SD カードに関して

付属以外の新しい microSD カードを使用する際は必ず、本体にて初期化を行なってください。（新しい 32GB 以上の microSD カードを初回使用時に「SD カードエラー」のメッセージを表示する場合がありますが一度画面をタッチし、メッセージが消えましたら初期化してください。初期化後、エンジンをかけ直して再起動してください）

・本機は 16～128GBmicro SD カードに対応しています。Class10 以上で信頼できるメーカーの正規品をお勧めします。

・すべての micro SD カードの動作を保証するものではありません。

SD カードの抜差し方について

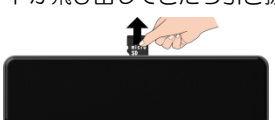
※注意 必ず本機の電源を切った状態で抜き差しを行ってください

●カードを取り出す時

micro SD カードを取り出すときは、一度 micro SD カードを軽く押し込み、飛び出してきたら引き抜いてください。

SD カードを軽く押し込む

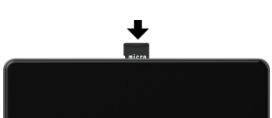
SD カードが飛び出してきたら引き抜く



●カードを挿入する時

micro SD カードの向きに注意しながら「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

micro SD カードのロゴを液晶画面(モニター)と同じ向きにして「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください



はじめに

注　意
・micro SD カードの挿入は必ず図のように本体液晶画面側(モニター)に micro SD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに挿入すると破損の恐れがあります。 ・エンジンを ON にした状態で micro SD カードの抜差しを行わないでください。micro SD カードの破損や録画データの破損の原因となります。 ・安心してお使いただくために、必ず 1～2 週間に一度、本機で SD カードの初期化を行ってください。必要に応じてデータをバックアップしてから行ってください。

本機の操作について

本機で各種設定や録画再生を行う場合は一旦録画を停止する必要があります。

1、 画面左上の「●」が点滅していると録画状態です。

2、 モニターの「 」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンを 1 回押すと画面上の「●」が消え録画停止状態になります。

（アイコンが出ていない時は画面を 1 回押すと表示します）

SD カードの初期化(内部データを削除)

micro SD カードの内部データを消去し初期化を行います。

（初期化を行なっても本体の設定情報は保持されます）

SD カードの初期化方法

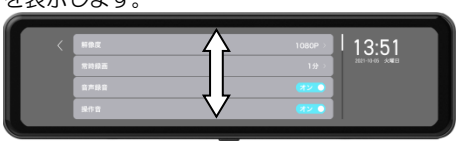
（録画中の場合「 」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンで録画を停止してから操作してください。アイコンが出ていないときは画面を 1 回押すと表示します）

はじめに

1、「 設定メニュー)アイコンを１回押すとメニューが表示します。

アイコン

2、メニュー部分を指で上下にスライドして「SD カードの初期化」を表示します。

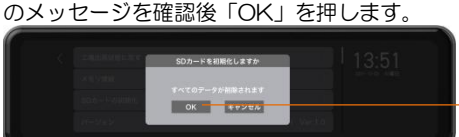


上下にスライド

3、「SD カードの初期化」を押します。

「SD カードの初期化」

4、「SD カードを初期化しますか　すべてのデータが削除されます」のメッセージを確認後「OK」を押します。



「OK」

はじめに

5、「SD カード初期化処理中」の後「SD カード初期化済み」が出たら初期化が完了です。

「SD カード初期化中」

6、「<」アイコンを押すと初期画面に戻り録画が再開します。

<(戻る)

「SD カード初期化済み」

注　意
・削除したデータを復元することはできませんので必ず事前にパソコンなどにバックアップしてください。7 ページ参照 ・micro SD カードは消耗品であり、書込み可能回数など製品寿命がありますので定期的に新品に交換することをおすすめします。7 ページ参照 ・新しい microSD カードを使用する場合は必ず本機にて microSD カードの初期化を行なってください。15 ページ参照 ・micro SD カードを交換した際は必ず動作確認と録画した映像の確認を行なってからご使用ください。 ・新しい 32GB 以上の micro SD カードを初回使用時、「SD カードエラー」メッセージを表示する場合がありますが、一度画面をタッチし、メッセージが消えましたら初期化してください。初期化後エンジンをかけ直して再起動してください。 ・SD カードエラーメッセージを表示した場合は一度画面をタッチし、メッセージを消してから初期化してください。

取付方法

取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。
取り付ける前に必ず、通電して動作確認をしてください。

車両にシガープラグコードを接続する（動作確認を行う）

19 ページ

↓

日時を設定する

20 ページ～21 ページ

↓

車両にカメラを取付ける

22 ページ～28 ページ

↓

取付後の動作確認を行う

29 ページ～36 ページ

↓

録画を確認する

37 ページ～41 ページ

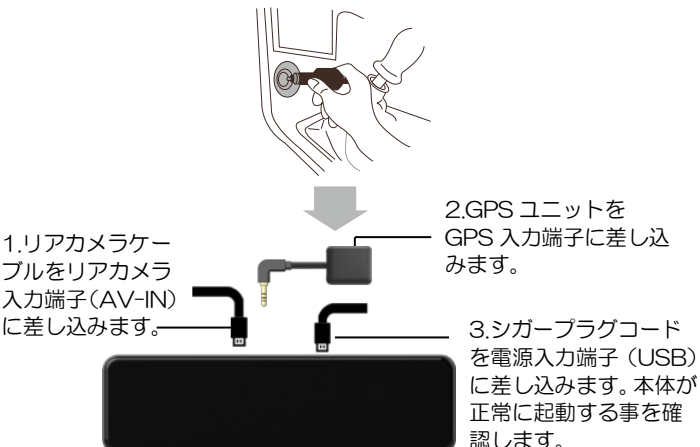
↓

終了

取付方法

シガープラグコードを接続する

下図の順序で車両シガーソケットに付属のシガープラグコードを挿し込み、各端子に電源プラグを差し込んでください。



取付方法

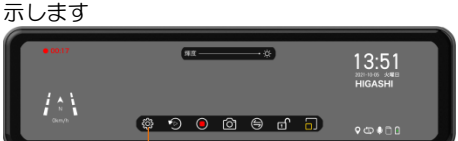
日時を設定する

車両に本体を取付ける前に日時設定を行ってください。設定した日時はGPS機能によりGPS受信時に更新されますが、常に正確な日時情報で映像を記録するために、1ケ月に一度は日時を確認する事をお勧めします。(ご使用環境によってGPSが受信できない場合があります。36ページ参照)
日時設定後初回のみ1時間程度通電していただく事をお勧めいたします。また、しばらく乗車しない場合は日時設定がリセットされますが故障ではありません。乗車時に日時を確認し、リセットされた場合は再度設定してください。
※日時設定については初期画面で右上に表示している日時部分を押して「日時設定」メニューを表示し、設定することも可能です。

設定方法

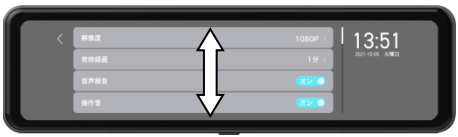
(録画中の場合「 」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンで録画を停止してから操作してください。アイコンが出ていないときは画面を1回押すと表示します)

1、「 」(設定メニュー)アイコンを1回押し設定メニューを表示します



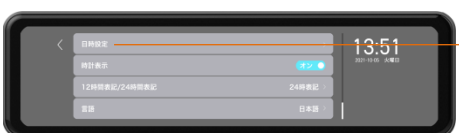
2、メニュー部分を指で上下にスライドして「日時設定」を表示します。

取付方法



上下にスライド

3、「日時設定」を押します。



「日時設定」

4、変更したい日付、時間を押して「－ ＋」アイコンで変更します。
設定が完了したら最後に「OK」を押し決定してください。

変更したい項目を押し
－ ＋ で変更

「OK」

5、前の画面に戻り、日時設定完了

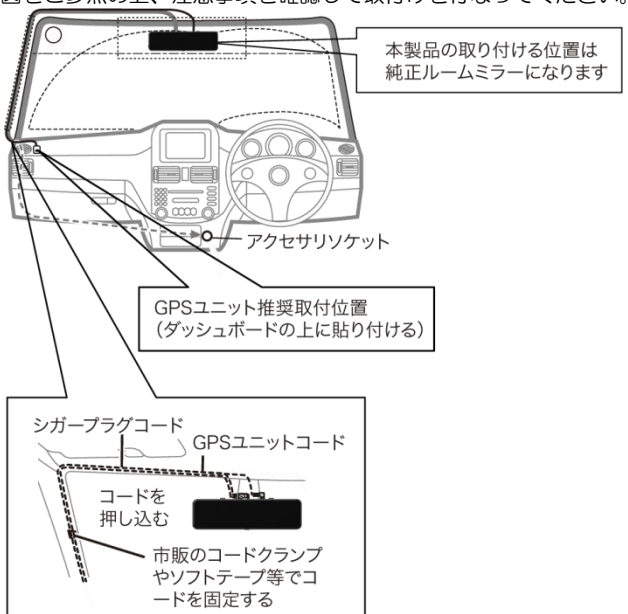
「＜」(戻る)を押すと初期画面に戻り録画が再開します。

＜ (戻る)

取付方法

取付位置を確認する

本製品はお車の純正ミラーに取付けることができます。特殊なサイズや形状のルームミラーには取り付けができない場合があります。
下図をご参照の上、注意事項を確認して取付けを行なってください。



取付方法

注　　意

- 道路運送車両法に基づく保安基準に適合するように取り付けを行ってください。
- エアバックの動作に支障が出る場所には取り付け・配線をしないでください。エアバックの誤作動など重大な事故につながる恐れがあります。
- 運転者あるいは同乗者に危険が及ぶ場所に取り付けないでください。
- 取り付けの際はお車のメーカーの作業の注意点を確認してください。
- 取り付け前にお車の純正ミラーが少しの力で動くことがないか確認してください。少しの力で動いてしまう場合は本商品が取り付け可能かお車のメーカーに確認してください。
- 取り付ける前に、取り付け位置で電源コードなどが接続できるかどうか確認してください。
- 付属のシガープラグコードは濡れた手で抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 付属のシガープラグコードは確実に差し込んでください。
- 付属のシガープラグコードは 12V から 5V に変換して本機に電源を供給しています。必ず付属のシガープラグコードをご使用ください。付属以外のコードを使用することは火災や感電、故障の原因となります。
- 付属のシガープラグコードの改造、加工(バッテリーに直接つなぐ)などは火災や故障、誤作動の原因になりますので絶対にしないでください。
- 運転の妨げにならないように市販のコードクランプなどを使用し配線の取回しを行ってください。車のステアリングやブレーキペダルなどに巻き付くと大変危険です。
- 車のドアやシートレールなどにコードを挟み込まないように配線してください。またコード類を傷つけたり折り曲げる、ねじるなどの扱いをしないでください。断線やショートにより火災や感電、故障の原因となります。
- 取り付け後に車の電装品が正常に動作するか確認してください。

取付方法

- テレビやラジオ、ETC 等のアンテナ近くに設置しないでください。受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因になります。
- 本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。誤作動を起こす可能性があります。
- カメラ保護用シールが張ってありますので取り付け後、必ず剥がしてご使用ください。貼ったままで使用すると録画がきれいに撮れないことがあります。
- カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、映像の焦点がずれてしまいますので、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- リアカメラを取り付ける前にフロントカメラでリア映像を確認してください。上下誤った方向で取り付けた場合、映像が上下逆になります。
- カメラは車内に取り付けてください。防水仕様ではありません。
- リアカメラを取り付ける際、リアガラスの電熱線と重ならないように取り付けてください。またリアワイパーが装着された車に取り付ける場合、拭き取り範囲内に取り付ける事をお勧めいたします。次のような場所への固定や配線を避けてください。
  運転やエアバッグ作動時の妨げとなる場所
  エアコンやヒーターなどの熱風を受ける場所
  直射日光の当たる場所
  可動部や開閉による断線をもたらす可能性がある場所
  ラジオなどのアンテナ付近(受信感度が悪くなる場合があります)
  水のかかる場所やほこりなどの多い場所
- リアガラスにプライバシーガラスやフィルムを張られている車両は外部の明るさによっては映像が見えづらい場合があります。
- 後続車のライトにより録画した映像が見えづらいことがあります。
- リアガラスが可動する車両やフィルムを張っていてリアカメラが取りつかない車両の場合、リアトレイなどに取り付けてください。
- 使用環境などに影響され場合によってはリアカメラ映像が荒くなったり、多少ダブることがあります。

取付方法

本体を取り付ける

1、 安全に取付作業できる場所に車を止める

2、 ルームミラーの前に本製品を当て、付属の固定用バンドで本製品のフックに引っ掛ける。必要に応じ、レンズの位置をスライドして調整する

3、 シガープラグコードを電源入力端子に差し込み、本体に通電しモニターを確認しながらレンズの向きを調整する。

※カメラの撮影範囲を調節する場合は運転者に合わせてミラーと本機の向きを調整後、フロントカメラのレンズの角度（向き）を調整してください。この時必ず (画面表示切替)アイコンで「フロントカメラ/リアカメラ」画面(下図)の状態で調整を行ってください。

「画面表示切替」
13 ページ参照

取付方法

※お買い上げ時は「バックミラー」の設定がオンになっており、10 秒前後経過すると自動でリアカメラの映像に切り替わります。撮影範囲調整中は「バックミラー」の設定をオフにすると画面がリアカメラ映像に切り替わらず、調整がしやすくなります。
調整後は再度「バックミラー」の設定をオンにすることをお勧めします。

※リアガラスの反射がモニターに映りこまない様に調整してください。

※運転者が変わる場合は再度 (画面表示切替)アイコンで「フロントカメラ/リアカメラ」画面に変更し、撮影範囲を確認してください。

※「画面表示エリア調整」アイコンでは撮影範囲は変更できません。(画面で見える範囲のみを調整する機能)　13 ページ参照

※リアカメラの映像は鏡像でバックミラーで後方を確認したときのような映像がモニターに表示します。再生時の映像はすべて正像になります。設定の変更はできません。

4、シガープラグコードの配線の取回しを行なってください。

※付属のシガープラグコードは12Vから5Vに変換して本機に電源を供給しています。必ず付属のシガープラグコードを使用し、改造・加工は絶対に行わないでください。誤った方法で使用することは火災や感電、故障の原因となります。

5、フロントカメラの取付完了

本体を取り外す

本体を外す場合は、落下しない様本体を手で持ち、付属の固定用バンドを外して取り外します。

注　　意
・本体を外す際、必ずエンジンを OFF にして電源を切ってから外すようにしてください

取付方法

リアカメラを取り付ける

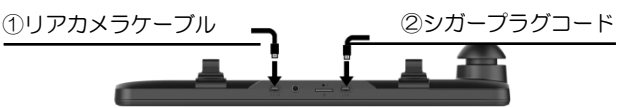
リアカメラはリアガラスまたはリアトレイ等に取り付けてください。防水仕様ではありません。ここではリアガラスへの取付けを例に説明を行います。（リアカメラは一方向しか取り付けられません。逆に取り付けると映像が逆になりますのでご注意ください）

1、取り付ける場所を脱脂クリーナーで清掃しよく乾かす。

2、リアカメラケーブル①を本体側のリアカメラ入力端子に差し込みます

3、シガープラグコード②を電源入力端子に差し込み、本体に通電します

4、付属の両面テープで取り付ける前に粘着の弱いテープで仮固定して映像を確認してください。仮固定後に液晶の映像を確認しながら角度を調整してください。※角度調整は上下方向のみで左右方向の調整はできませんのでご注意ください。



5、リアカメラ両面テープのはくり紙を剥がし、リアガラスに取り付ける。両面テープが全面に張り付くようにしっかりと押す。

※極端に気温が低い場合、両面テープの粘着力が弱くなります。ドライヤーなどで両面テープを暖めてから貼り付けてください

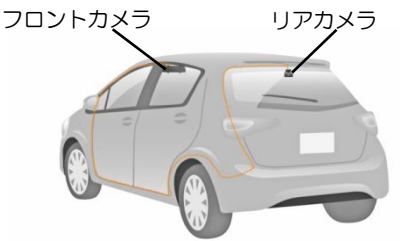
※取り付ける場所を事前に定め、貼り直しはしないでください、脱落する恐れがあります

※車内に取り付けてください。防水仕様ではありません

取付方法

6、リアカメラケーブルを市販のコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

■ケーブルの取り回し例（画像はイメージです）



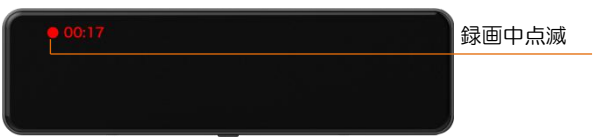
7、リアカメラの取り付け完了

取付方法

動作を確認する

録画の動作を確認します。（本体で確認する方法で説明します）

1、車のエンジンをオンにしてしばらく録画を続けます。
（モニターの左上の「●」が点滅すると録画状態になっています）



2、「■」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンを押して録画を停止し、「▷」（再生モード）アイコンを１回押し再生画面を表示します。

（「■」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンが出ていないときは画面を１回押すと表示します）

取付方法

再生画面

再生画面の各アイコンについて

- 常時録画フォルダ
- イベント録画フォルダ
- 写真フォルダ

各フォルダにはフロント/リアの映像が記録されています。下記 ｱｲｺﾝで切り替えます。

- F フロント/R リア切り替え：アイコンを押すたびに各フォルダのフロントとリア映像の切り替えを行います

3、再生したいファイルを選択すると再生が開始します。
①再生したいフォルダアイコンを押すとファイル名が表示します。
②各フォルダのフロントとリア映像の切り替えができます。
③再生したいファイル名を押して再生します。

①再生したいフォルダアイコンを押す

③再生したいファイル名を押して再生

②各フォルダのフロントとリア映像の切り替え

取付方法

再生したいファイル名が表示されていない(リストの下部にある)場合はファイル名あるいはファイル名の右の部分を指で上下にスライドします

4、停止したい場合は「 」アイコンを押します。

ファイル名について
・フロント常時録画
　FILE○○○○○(日付)-○○○○○(時間)F.TS
・リア常時録画
　FILE○○○○○(日付)-○○○○○(時間)R.TS
・フロントイベント録画
　EMER○○○○○(日付)-○○○○○(時間)F.TS
・リアイベント録画
　EMER○○○○○(日付)-○○○○○(時間)R.TS
・フロント写真
　IMG○○○○○(日付)-○○○○○(時間)F.JPG
・リア写真
　IMG○○○○○(日付)-○○○○○(時間)R.JPG

5、もう一度「<」（戻る）を押すと初期画面に戻り録画が再開します。

<（戻る）

ファイルの保護・削除について

録画したファイルを保護、保護の解除、削除をすることが可能です。

●常時録画・イベント録画ファイルを保護する方法

1.再生画面で保護したいファイルを選択し「🔓」アイコンを押すと「現在のファイルを保護します」のメッセージが出てファイルが保護されます。

🔓アイコン

「現在のファイルを保護します」

2.再生画面上の「🔓」が「🔒」に変わります。

※ファイル保護の操作ではフロント/リア映像共に保護されます。

取付方法

●常時録画・イベント録画ファイルの保護を解除する方法

1.再生画面で保護を解除したいファイルを選択し「 」アイコンを押すと「ファイル保護解除」のメッセージが出てファイルの保護を解除します。

アイコン

「ファイル保護解除」

2.再生画面上の「 」が「 」に変わります。

※ファイル保護解除の操作ではフロント/リア映像共に保護が解除されます。

●常時録画・イベント録画ファイルを削除する方法

1.削除したいファイルを選択し「 」アイコンを押す

アイコン

取付方法

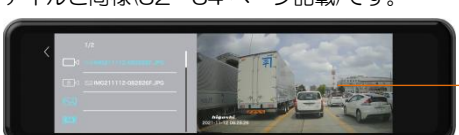
2.「選択したファイルを削除しますか？」のメッセージを確認して「OK」を押す。(保護されているファイルは削除できません。削除する場合は一旦ファイル保護解除を行ってから削除してください)

削除する場合は「OK」を押す

「ファイル削除完了」が出たら完了

●写真フォルダ内のファイルを保護・保護の解除・削除をする方法

1.再生画面でファイル名を選択後、右側の画像を押して全画面表示になった状態で操作ができます。操作方法は常時録画・イベント録画ファイルと同様(32～34 ページ記載)です。



この部分を押して全画面表示にする

全画面表示

(保護/保護解除アイコン)

(削除アイコン)

取付方法

※ファイル削除の操作では例えばフロント映像を削除した場合、同時に録画されたリア映像は削除されません。

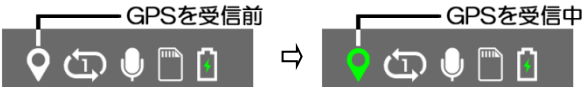
注意：設定メニュー「イベント録画上書き」を「オン」にした場合に各フォルダの記録上限に達した時は、ファイルの保護をしていても古い映像ファイルから順に消去され最新映像が記録されます。
注意：設定メニュー「イベント録画上書き」を「オフ」にした場合にイベント録画ファイルの領域内のファイルがいっぱいになると「イベント録画ファイルがいっぱいです　データを削除してください」のメッセージが出て、その後新しく録画したイベント録画の映像は保存できません。

注意：パソコン上でファイルを削除すると誤作動の原因になりますのでパソコンではファイルの削除を行わないでください。
注意：SD カードの初期化を行うと保護されているファイルも消去されます。

取付方法

GPS の受信を確認する

車のエンジンをオンにして本体起動後、しばらくしてから「GPS」の文字が緑色で表示することを確認してください。



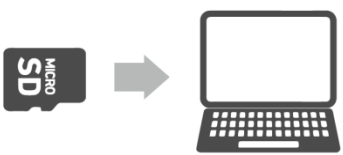
注　意
●初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで時間がかかる場合があります。 ●下記のような場所は受信できない可能性があります。しばらく受信しない場合は場所を変えて再度お試しください。 ・地下駐車場・トンネル・ビル群や建物の中・森林の中 ・その他受信の妨げになる場所 ●電波が透過しづらい金属コーティングのガラスやフィルム等で着色している場合、GPS を受信できない場合があります。 ●GPS での速度計測は車のスピードメーターと計測方法が違うため、速度に差が出る場合があります。また停止中でも車両が動く場合がありますが、GPS の誤差によるものであり、故障ではありません。 ●衛星の受信状態により、数十メートルの測定誤差が生じる場合があります。 ●GPS アンテナユニットは車載電子機器やアンテナからなるべく離して取り付けてください。本製品の GPS が正常に受信できない場合や車載電子機器が誤作動を起こす場合があります。

録画を確認する

映像を再生する

パソコンで映像を再生する方法

Windows Media Player にて再生できます。
micro SD カードで再生する場合カードリーダーなどを使用して、パソコンへ挿入します。
・micro SD カードに対応していないカードリーダーの場合は、パソコンがカードを認識できません。
・本体から micro SD カードを抜く前に必ず、エンジンをオフにして、本体の LED ランプが消灯してから取り出してください。



本体で映像を再生する方法

本体にて録画の再生をすることは可能です。
29～32 ページをご参考ください。

パソコンに録画データを保存する

micro SD カードの録画データをパソコンなどに保存したい場合はカードリーダーなどを使用して、パソコンへ挿入します。micro SD カードの録画データをコピーしてパソコンに保存してください。

注意
・micro SD カードに対応していないカードリーダーの場合は、パソコンがカードを認識できません ・パソコンなどデバイスで SD カードを初期化（フォーマット）しないでください。必ず本機にて初期化をしてください。

録画を確認する

専用ソフトで再生する方法

本機で録画した映像は、パソコン(windows 専用)に専用ソフト「CAR DVR PLAYER」をインストールすることにより、地図ソフトと連動させて加速度などの情報と合わせて映像再生することができます。（※お使いのパソコンがインターネットに接続されないと地図画面が表示されません）ソフトのダウンロード先は各ショッピングサイトの本商品ページをご参照ください。予め再生したいファイルをパソコンに保存しておいてください。

1、 指定ダウンロード先より、ソフトをダウンロードし、ご使用のパソコンにインストールしてください。（インストール方法についてはサポートしておりませんのでご了承ください）

2、 専用ソフトを起動する。

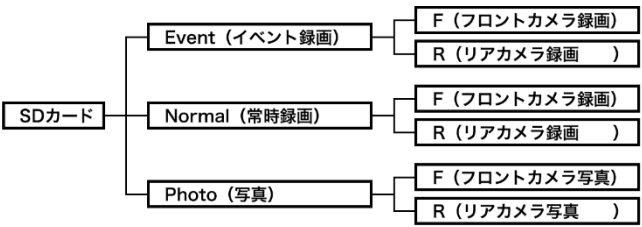
録画を確認する

3、 画面左上の「設定（Settings）」を押し、「言語（Language）」〉「日本語」を選択すると表示が日本語に変わります。
4、 「ファイルを開く」ボタンを押し、予めパソコンに保存した再生したいファイル名を選択してファイルを開くと、選択したファイルの映像が再生されます。
5、 他の映像を再生したい場合は、再生リストにあるファイル名をダブルクリックするか、「次のファイル」、「前のファイル」ボタンで再生したいファイルを選択します。
6、 再生中、画面右の地図上で走行位置を確認できます。
7、 録画の確認を終了する場合は「停止」ボタンを押して画面左上の「×」で終了します。

録画を確認する

■保存先フォルダー名・ファイル名について

●フォルダー構成　※フォルダ名はデータがある場合のみ表示します



●ファイル名称は以下の内容で保存されます。フロントカメラとリアカメラ映像はペアになっています。

	年 月 日	時 分 秒	カメラ記号
フロントカメラ記録データ	FILE211006	143414	F
リアカメラ記録データ	FILE211006	143414	R

例）2021年10月06日　14時34分に記録したデータのファイル名

・フロントカメラ：FILE211006-143414F

・リアカメラ　　：FILE211006-143414R

注：1、Event（イベント録画）ファイル名は「EMER～」から始まります。

2、Normal（常時録画）ファイル名は「FILE～」から始まります。

3、Photo（写真）ファイル名は「IMG～」から始まります。

※記録データは秒数ずれる場合がありますのでご了承ください。

録画を確認する

注　意
・走行軌跡、速度及びマップなどは GPS 情報がある場合は表示されます。なお、お使いのパソコンがインターネットに接続されないと地図が表示されません ・本ソフトは windows システムのパソコンしか使用できませんのでご了承ください。 ・パソコンのスペックが低い場合はうまく動作しない事があります。 ・お使いのパソコンのアップーデートや地図ソフトの仕様変更などにより、専用ソフトでの地図が正常表示できない場合があります。予めご了承ください。 ・ソフトの改良など、予告なく、専用ソフトの仕様などを変更する場合があります。 ・トンネルや建物の中にいる場合、また悪天候や頭上に障害物がある場合、GPS を受信できなかったり、受信に影響が起きる可能性があります。その場合は GPS 情報が記録されず、映像を再生時、地図上に軌跡がありません。 ・GPS での速度計測は車のスピードメーターと計測方法が違うため、速度に差が出る場合があります。また停止中でも車両が動く場合がありますが、GPS の誤差によるものであり、故障ではありません。 ・衛星の受信状態により、数十メートルの測定誤差が生じる場合があります。

映像を撮る

電源をオンにする

クルマのキースイッチをオンにすると本製品の常時録画が開始する。
（録画中 LED ランプが点滅し液晶画面の左上に「●」が点滅します）

録画中点滅

SD カードチェック機能
本製品では起動時に SD カードをチェックし、カード未挿入もしくはカードが破損していた場合はアラームとともに液晶表示で異常をお知らせする機能があります。
SD カードエラーを検出した場合はまたは初期画面に が表示した場合は SD カード初期化手順（15～17 ページ）に従って、初期化してください。初期化してもエラーが出る場合は新しい SD カードに交換してください。

電源をオフにする

クルマのキースイッチをオフにして本製品の録画を停止する（LED ランプが消灯する）

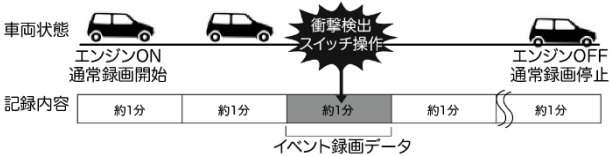
画面表示の「●」が消えます

映像を撮る

映像の記録について

本製品の映像記録データには「常時録画」と「イベント録画」と「写真」があります。

（下記は常時録画 ファイル１分で設定した場合の例です）



注意

・事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録が出来ない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。
・マニュアル録画(手動録画)または衝撃による録画データの保存中は、再度イベント録画アイコン操作や衝撃を検出しても、新しく記録することはできません。

■常時録画について

エンジンをオンにした後からエンジンをオフにするまで、常時録画データとして micro SD カードに自動で記録を続けます。
記録上限に達した場合、古い映像ファイルから順に消去し、最新映像が記録されます。１ファイルの録画時間はメニューの「常時録画」の設定時間となります。※初期設定は１ファイルあたり約１分で生成します。

■イベント録画について

イベント録画には衝撃を検出した時点で自動でイベント録画フォルダに作成される「衝撃録画データ」と手動でのスイッチ操作による「マニュアル録画データ」があります。（ともに「イベント録画フォルダ」に保存します。常時録画としては残りません）記録が終了すると常時録画に戻ります。録画時間は設定メニューの「常時録画」の設定時間となります。定期的に映像をバックアップすることをお勧めします。

●衝撃録画データ

G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを「イベント録画フォルダ」に記録します。（録画開始とともに画面左上の LED ランプが ● 点滅に変わり音が鳴ります）G センサーの感度は設定により低、中、高で感度調整することができます。初期設定は「中」になります。

事故発生時の衝撃が弱い場合、G センサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。

●マニュアル録画データ（手動録画）

本製品は録画中「 」アイコンを押すと、スイッチを操作した時点のファイルを「イベント録画フォルダ」に記録します。

1 ファイルの録画時間中に再度「 」アイコンを押すとデータは常時録画データとして保存されます。(LED ランプが ● 点滅に変わります)

本操作は必ず周囲の安全を十分に確認の上で行ってください。

●駐車監視録画データ（オプション機能　53～56 ページを参考**）**

駐車監視機能を使用の場合、エンジンをオフにすると駐車監視モードに切り替わり、衝撃検知した映像を「イベント録画フォルダ」に自動で記録します。記録上限に達した場合、古い映像ファイルから順に消去し、最新映像が記録されます。(※設定メニュー「イベント録画上書き」がオンの場合)

各種設定

■録画領域について

本機をご使用時、micro SD カード全体の 79%を常時録画、20%をイベント録画（衝撃録画 / マニュアル録画/駐車監視録画）、1%を写真の領域として設定されています。(変更はできません)

それぞれの領域が上限に達すると古い録画ファイルから自動削除して上書きされます。

SD カードの全容量

常時録画	ｲﾍﾞﾝﾄ録画	写真
79%	20%	1%

★micro SD カードの容量による記録時間の目安

記録時間は micro SD カードの容量、記録形式、画質設定により変動します。（61 ページの表を参考にしてください）

※ 対応 micro SD カード：16GB ～128GB（class10 以上推奨）7 ページ参照

注意
・新しい SD カードを使用する際は必ず、本体にて SD カードの初期化を行なって、動作することを確認の上、ご使用ください。 ・動作や保存などの保証は致しかねますので、あらかじめご了承下さい。

各種設定

設定方法

本製品の各種設定は設定メニューから行うことができます。

1、「音量」設定を例に説明します。

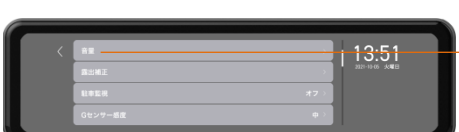
(録画中の場合「●」(録画ｽﾀｰﾄ/ｽﾄｯﾌﾟ)アイコンで録画を停止してから操作してください。アイコンが出ていないときは画面を１回押すと表示します)

「⚙」(設定メニュー)アイコンを１回押すとメニューが表示します。

⚙ アイコン

2.メインメニュー画面を指で上下にスライドし「音量」を押します

上下にスライド



「音量」を押す

各種設定

3.「－ ＋」アイコンで音量を調整します。10段階から設定できます。
設定が完了したら「OK」を押します。

4.前の画面に戻り音量設定完了

「＜」(戻る)アイコンで初期画面に戻り録画が再開します。

設定内容（初期値）一覧

設定内容及び初期値は下記の表の通りです。

項　　目	設定内容	初期設定
画面解像度	1080P/720P	1080P
常時録画	1 分/2 分/3 分	1 分
音声録音	オン/オフ	オン
操作音	オン/オフ	オン
音量	10 段階調整可	5
WDR	オフ/オン	オン
露出補正	13 段階で調整可	0

各種設定

項　　目	設定内容	初期設定
駐車監視(ｵﾌﾟｼｮﾝ機能)	オフ/高/中/低	オフ
G センサー感度	オフ/高/中/低	中
日時設定	-	要設定
時計表示	オン/オフ	オン
12 時間表記/24 時間表記	12 時間表記/24 時間表記	24 時間表記
言語	日本語/英語 その他	日本語
液晶 OFF	オフ/1 分/2 分/3 分	オフ
GPS 情報	-	-
タイムゾーン	GMT 表示(日本の GMT+09:00 に合わせて使用する)	GMT+09:00
GPS 表示	オン/オフ	オン
スピード単位	KM/H／MPH	KM/H
速度超過警告	オフ／30KM/H～160KM/H	オフ
イベント録画上書き	オン/オフ	オン
画面表示設定	リアカメラ/フロントカメラ/2 画面	リアカメラ
バックミラー	オン/オフ	オン
リアカメラ画面表示拡大/縮小	×1～×15 (最終の設定を保持します)	×1
アイコン表示	オン/オフ	オン
工場出荷状態に戻す	-	-
SD カードの初期化	-	-
バージョン	-	初期 hm0611 Ver.9.1

・録画を停止して設定画面で約 30 秒操作しないと自動で録画が再開

します。

各種設定

画面解像度

1080P（推奨）/720P
お買い上げ時は 1080P（推奨）に設定されています。

常時録画

エンジンをオンすると常時録画を開始します。1 ファイルごとの録画時間を 1 分/2 分/3 分で設定できます。お買い上げ時は 1 分で設定されています。micro SD カードの記録領域がなくなると古いファイルから上書きして常時録画を続けます。

音声録音

オン/オフから設定できます。お買い上げ時はオンに設定されています。

操作音

操作音のオン/オフの設定ができます。お買い上げ時は「オン」に設定されています。

音量

10 段階で調整できます。お買い上げ時は「5」に設定されています。本体電源が入る時のオープニング音、ボタン操作音、録画開始音、録画再生時に共通します。

WDR

WDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）明るいところと暗いところを補正して録画することができます。（フロントカメラのみの設定になります）お買い上げ時は「オン」に設定されています。※補正には限界があります。

露出補正

13 段階から設定できます。お買い上げ時は「0」に設定されています。

駐車監視　(ｵﾌﾟｼｮﾝ機能)

本機能を使用される場合、別売の「駐車監視直接配線ユニット DR-CA0630mn」での電源接続と設定メニュー/駐車監視を「高/中/低」のいずれかの感度に設定する必要があります。お買い上げ時はオフに設定されています。詳細は 53～56 ページ参照

各種設定

直接配線ユニットのお車への取付けについては車種により異なる点がある為サポートを行っておりません。取り付けはディーラーもしくは整備工場にお尋ねください。（取り付けまたは取り外しにかかる費用については、不具合などの交換も含め、いかなる場合もお客様のご負担となります。予めご了承ください。）

G センサー感度

衝撃感度を「オフ/高/中/低」から設定できます。低は感度が低く、高は感度が高い設定になります。お買い上げ時は「中」に設定されています。

日時設定

本体を取り付ける前に必ず、日時設定を行ってください。
設定方法は 20 ページをご参照ください。

日時表示

液晶画面右上の日時表示の設定ができます。オンの場合は常時表示します。オフの場合は起動後に非表示になります。画面をタッチすると表示し約 5 秒後に再度非表示となります。お買い上げ時はオンに設定されています。

12 時間表記/24 時間表記

12 時間表記/24 時間表記から設定できます。お買い上げ時は 24 時間表記に設定されています。

言語

日本語/英語その他の言語から選択できます。お買い上げ時は「日本語」に設定されています。

液晶 OFF

録画中の液晶表示の表示時間の設定ができます。「オフ/1 分/2 分/3 分」より設定できます。オフに設定すると液晶は常時点灯表示します。時間を設定すると設定時間が経過後、液晶表示が消えますが、録画は続きます。任意のボタンを押すと液晶オフが解除されます。お買い上げ時は「常時表示」に設定されています。

GPS 情報

GPS 情報が表示します。変更はできません。

各種設定

タイムゾーン

GMT+9(日本)に合わせて使用してください。お買い上げ時は GMT+9 に設定されています。

GPS 表示

液晶画面左側の方角、走行速度の表示をオン/オフから設定できます。お買い上げ時はオンに設定されています。

スピード単位

GPS 表示のスピード単位を KM/H／MPH から設定できます。お買い上げ時は「KM/H」に設定されています。

速度超過警告

オフ/30KM/H～160KM/H から設定できます。設定の速度を超過すると音と「設定速度を超過しました」のメッセージでお知らせします。お買い上げ時はオフに設定されています。

イベント録画上書き

オンの場合イベント録画フォルダの領域が上限に達すると古い録画ファイルから自動削除され上書きされます。
オフの場合、イベント録画フォルダの領域が上限に達すると「イベント録画ファイルがいっぱいです　データを削除してください」のメッセージが出て、新たなイベント録画が記録されません。イベント録画を継続したい場合は必要に応じてデータをパソコンなどに保存し、本機で不要なファイルを削除してください。お買い上げ時はオンに設定されています。

画面表示設定

起動時に表示する画面を設定します。リアカメラ/フロントカメラ/2画面から選択できます。お買い上げ時はリアカメラに設定されています。
※リアカメラの映像は鏡像です。バックミラーで後方を確認したときのような映像がモニターに表示します。再生時の映像はすべて正像になります。設定は変更できません。

各種設定

バックミラー

「オン」に設定すると起動後や画面表示をリアカメラ映像以外の画面にしていても無操作状態から約 10 秒後には自動でリアカメラ映像に切り替わります。「オフ」にすると設定メニュー「画面表示設定」で設定した画面を表示するようになります。お買い上げ時は「オン」に設定されています。ご使用時は「オン」にすることをお勧めします。

リアカメラ画面表示拡大/縮小

モニターに表示するリアカメラの映像を拡大/縮小できます。（×1～×１５）最終の設定が保持されます。表示範囲を拡大すると解像度は下がり、粗くぼやける映像に見えます。但し、録画範囲と解像度は元のままになります。

アイコン表示

初期画面の右下のアイコンの表示・非表示の設定ができます。オン/オフから設定できます。お買い上げ時はオンに設定されています。

工場出荷状態に戻す

商品の設定を工場出荷時の設定に戻します。(日時設定はリセットしません)

SD カードの初期化

micro SD カードを正常に動作させるために 1～2 週間毎に本機にて初期化(フォーマット)することをお勧めします。
初期化する方法は 15～17 ページを参考にしてください。
ご注意：削除したデータを復元することはできませんので必要があれば事前にパソコンなどにバックアップしてください。
・SD カードは消耗品であり、書込み可能回数など製品寿命がありますので定期的に新品に交換することをお勧めします。7 ページ参照
・新しい 32GB 以上の micro SD カードを初回使用時、「SD カードエラー」メッセージが表示する場合がありますが、一度「設定メニュー」アイコンを押し、メッセージが消えましたら、初期化してください。初期化後、必ずエンジンをかけ直して再起動してください。

バージョン

製品の出荷時のバージョンを示します。

駐車監視(オプション)

■駐車監視について

・本機能はオプション機能です。本機能を使用される場合、別売の「駐車監視直接配線ユニット DR-CA0630mn」での電源接続と設定メニューの「駐車監視」を「高/中/低」いずれかの感度に設定する必要があります。「駐車監視」設定を「オン」にすると画面右下に (駐車監視)が表示します。お買い上げ時はオフに設定されています。直接配線ユニットのお車への取付けについては車種により異なる点がある為サポートを行っておりません。取り付けはディーラーもしくは整備工場にお尋ねください。※駐車監視直接配線ユニット R-CA0630mn 長さ：約 350cm（本体を含む）

設定メニューの「駐車監視」設定を「オン」にすると表示します

■動作について

- 駐車監視をオンに設定した場合はエンジンオフにすると約 10 秒間継続録画した後、自動的に駐車監視モードに入ります。
- フロントカメラが衝撃を感知すると約 5 秒後に自動で録画が開始します。画面が点灯後「●」点滅が表示し、「イベント録画が開始します」または「駐車監視モードが作動しました　録画ファイルを確認してください」のメッセージが出ます。約 10 秒間録画をした後、録画が停止し再度監視モードに入ります。
- 駐車監視モードに入ると自動的に液晶オフになります。
- 駐車監視モード中の映像は「イベント録画フォルダ」に記録されます。
- フロントカメラが衝撃を検知した場合のみ動作します。（リアカメ

ラには検知する機能がありません）ただし、フロントカメラが検知した場合は、前後とも録画します。

- 衝撃を感知し録画中にさらに衝撃を感知しても録画は延長しません。
- 車両キースイッチが ACC またはエンジンオンになった時点で駐車監視モードが終了して常時録画が開始します。
- 駐車監視中に衝撃録画が記録された場合は ACC またはエンジンオンになった時点で「駐車監視モードが作動しました　録画ファイルを確認してください」のメッセージが出ます。必要に応じてイベント録画ファイルを確認してください。メッセージは画面を押すと消えます。
- 衝撃録画中に ACC またはエンジンオンになった場合、設定メニューの「常時録画」の設定時間内はイベント録画を行い、その後常時録画に移行します。※タイミングによっては本体が起動しない場合があります。その場合は再度 ACC またはエンジンオンにすると常時録画が開始します。
- 駐車監視機能の使用を中止して、駐車監視直接配線ユニットから付属のシガーソケットコードに変更して電源を取った場合、起動時に「確認後タップしてください　シガーソケット電源モードに切り替えます」のメッセージと「OK」ボタンが表示します。「OK」ボタンを押すと常時録画が開始します。「OK」ボタンを押さないと 10 秒前後で一旦電源がオフになります。その場合は再度起動して表示する「OK」ボタンを押してください。

注意：駐車監視中に下記の操作を行うと誤作動の原因となりますので行わないでください。
・フロントカメラ下の電源ボタンの操作
・電源プラグコードの抜き差し
・液晶画面上の各種操作
誤って上記の操作を行った場合は、一旦車のエンジンをオンにした後エンジンを切って駐車監視を再スタートする必要があります。

駐車監視(オプション)

■駐車監視モードを設定した場合の micro SD カード扱いについて

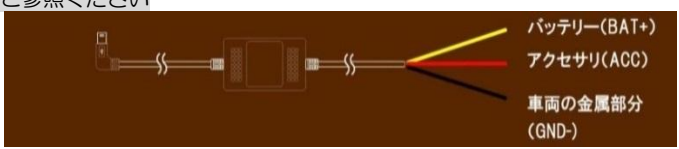
駐車監視モード有効時の SD カードの抜き挿しは必ず下記のように行ってください。

・エンジンがオンの状態で駐車監視設定を「オフ」に設定します。

・エンジンオフにし、micro SD を抜き挿します。

※エンジンオフの駐車監視モード中での設定メニューはできません。

■駐車監視直接配線ユニット DR-CA0630mn の配線方法は下図をご参照ください



注　　意

・配線する前に必ず、通電し動作確認をしてください。

・駐車監視モードは本体に常時電源供給していますので車両のバッテリーへ負荷がかかります。必ず、定期的にバッテリーの点検をしてください。

・次の車両はご使用を控えてください。バッテリー上がりの原因になります（毎日乗車しない・1 日の走行が 1 時間以下・バッテリーを 1 年以上使用した）

・車両バッテリーの状態などにより、バッテリー上がりを起こす可能性があります。バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

・長時間駐車監視モードに設定して駐車する場合、micro SD カードの容量や環境により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。必要に応じて定期的にデータをバックアップしてください。

・駐車監視モード中はメニューの設定はできないので必ずエンジンをオンして設定してください。

駐車監視(オプション)

・駐車監視モード中の録画についてはＧセンサーの感度や衝撃の度合によってうまく動作しない場合があります。すべての状況において映像を記録することを保証するものではありません。
・車両バッテリー劣化や電源電圧が低い場合、配線ユニットによる電源供給がストップすることがあります。その場合は録画は作動しないことになります（駐車監視直接配線ユニット DR-CA0630mn は電圧 11.6V(±0.1V)以下になると低電圧保護で電源供給がストップになります）
・駐車監視モード中、ドアの開閉により駐車録画が開始することがあります。
・「駐車監視直接配線ユニット」を使用せず、付属のシガープラグコードから電源供給した場合、駐車監視の設定はできません。
・配線ユニットの取付（配線工事など）に関するサポートはお車によって取付箇所が異なるため行っておりません。取り付けの際はディーラーもしくは整備工場にお尋ねください。
・取り付け・取り外しに関する費用はお客様のご負担となります。商品保証による交換の場合の取り付け・取り外し費用も同様にお客様のご負担となります。何卒ご了承ください。
・定期的に配線箇所の確認をお願いします。

その他

よくあるご質問

■本体が起動しない/画面が表示されない
・電源が正しく接続されているかご確認ください。
・microSD カードを取り外して起動してみてください。
・本機に対応した micro SD カードかご確認ください。
・他の micro SD カードで試してみてください。
（対応 SD カード容量 16～128GB Class10 以上 7 ページ参照）
・液晶オフの設定になっていませんか。設定をご確認ください。
■映像が記録できない
・SD カードが正しく挿入されていますか（SD カードには挿入向きがあります）　14～15 ページ参照
・SD カードの初期化または交換してお試しください。7、15～17 ページ参照
■録画ファイルがない、録画データが保存されていない
・常時録画フォルダがいっぱいになると、古いデータ順に上書きされます。micro SD カードの 79%の容量は常時録画用になります。（必要があれば、定期的にパソコンなどに保存してください）
・micro SD カードの 20%の容量はイベント録画用になりますがこちらも古いデータ順に上書きされます。事故発生時は必ず SD カードを抜いて保管してください。（オプションの駐車監視録画もイベント録画用に含まれます）
・micro SD カードは消耗品であり、使用頻度により使用期限があります。1～2 週間に一度は SD カードの初期化を行い、また定期的に交換する必要があります。7、15～17 ページ参照
■衝撃画像が記録されていない
・G センサー感度を変更する（低/中/高より設定できます。高は一番敏感です）
・イベント録画（衝撃録画とマニュアル録画）は「イベント録画フォルダ」に保存します。衝撃が弱く G センサーで感知しなかった場合は「常時録画フォルダ」に保存されている場合があります。

その他

（事故などの際、衝撃の強さによっては、映像が常時録画として保存される場合がありますので、念のため、手動でマニュアル録画を行うことをお勧めします）

■リアカメラの映像が映らない

・リアカメラケーブルはしっかり差し込んでいますか。

・ドアなどに挟みケーブルが断線していませんか。

■micro SD カードがパソコンで認識しない

・micro SD カードリーダーがお使いの SD カードに対応しているかを確認してください。

■起動を繰り返したり、動作が不安定になる

・本体のリセットボタンを押してください。

•micro SD カードに本機以外で記録したデータが保存されていませんか。必要なデータを保存してから micro SD カードを本機にて初期化してください。

・新しい micro SD カードに交換してください。それでも直らない場合は販売店までご連絡ください。

・一部アイドリングストップ車で本製品を使用した際、稀に再起動現象が起こる場合があります。故障ではなく、アイドリングストップ車の特性によるものになります。

・直接配線ユニットをご使用の場合は配線方法をお車の販売店に確認してください。お車によって取付箇所が異なります。

■記録した映像を削除したい

・SD カードの初期化をしてください。すべての記録が削除されます。15～17 ページ参照

・個別にファイルを削除したい場合は本機で再生モードから選択したファイルを削除することが可能です。32～35 ページ参照

■駐車監視モード中は常時録画ですか

・常時録画ではありません。本機の駐車監視モード中は G センサーによって衝撃を感知した約 5 秒後から録画を開始し、10 秒前後録画します。その後再び監視モードに入ります。映像は「イベント録画フォルダ」に保存されます。

その他

■駐車監視モードに移行しない
・専用の駐車監視配線ユニットで電源を配線の上、駐車監視モード設定を「オン」に設定してください。
・直接配線ユニットの配線に誤りがないか確認してください。
・車両バッテリーの劣化や電源電圧が低い場合、駐車監視用の直接配線ユニット DR-CA0630mn は電圧 11.6V(±0.1V)以下になると低電圧保護で電源供給がストップになります。
■駐車監視直接配線ユニット DR-CA0630mn の配線が分からない。
・配線方法はお車によって取付箇所が異なります。お車の販売店に確認してください。黄色は常時電源（BAT+）、赤色はアクセサリ（ACC）
■駐車監視直接配線ユニットで配線しましたが、駐車監視モードを使用せず、走行中のみ録画したい
・駐車監視の設定を「オフ」に設定してください。
■駐車監視モード中の録画範囲は
・フロントカメラとリアカメラ録画範囲になります。

エラー確認表

メッセージ	対処方法
・SD カードエラー、カードを交換してください ・SD カードを初期化もしくは交換してください	・micro SD カードが破損した可能性があるので初期化をしてください。画面を一回押して、エラーメッセージが消えましたら、15～17 ページの SD カード初期化手順に従って初期化をしてください。 ・初期化してもエラーになる場合は新しいカードに交換して試してください。対応 SD カード容量 16～128GB Class10 以上 （micro SD カードは消耗品ですので定期的に交換が必要です。7 ページ参照）

その他

メッセージ	対処方法
SD カードがいっぱい	・micro SD カードの不具合で上書きしていない（画面を一回押して、エラーメッセージが消えましたら SD カードの初期化を行ってください。15～17 ページ参照） ・初期化してもエラーになる場合は新しいカードに交換してください。対応 SD カード容量 16～128GB Class10 以上　7 ページ参照
初期画面に のマークが出ている	・micro SD カードが挿入されていないか破損した可能性があります。SD カードが正しく挿入されているか確認し、その後も解消しない場合は初期化をしてください。画面を一回押して、エラーメッセージが消えましたら、15～17 ページの SD カード初期化手順に従って初期化をしてください。 ・初期化してもマークが消えない場合は新しいカードに交換して試してください。対応 SD カード容量 16～128GB Class10 以上 （micro SD カードは消耗品ですので定期的に交換が必要です。7 ページ参照）
・SD カード確認してください ・SD カードを挿入してください	・micro SD カードを本体に挿入したかどうかを確認してください。 ・ＳＤカード内に別のデータが入っている場合はカードを交換してください。

エラーによりボタン操作ができない場合は一旦エンジンをオフ→オンして本体を再起動した後、SD カードを初期化してください。

その他

記録時間の目安

記録時間は micro SD カードの容量および記録種類により変わります。下記表を目安でご参考ください

前後カメラ使用時	micro SD カード容量			
	16GB	32GB	64GB	128GB
1080P	約 80 分	約 160 分	約 320 分	約 645 分

※本機が対応する micro SD カード：16GB～128GB（Class10 以上　7 ページ参照）
※付属以外の新しい micro SD カードを使用する際は必ず、本体にて初期化を行なってください。
（新しい 32GB 以上の micro SD カードを初回使用時、「SD カードエラー」メッセージを表示する場合がありますが、一度「MENU」ボタンを押し、メッセージが消えましたら、初期化してください。初期化後、エンジンをかけ直して再起動してください。）
※上記値は目安で、絶対保証値ではありません。

カメラ角度イメージ

●水平角度

フロントカメラ：対角 124°

●垂直角度

リアカメラ：対角 145°

その他

製品仕様

電源電圧		DC12V　マイナスアース車専用 （5V 入力）	
動作温度		-15℃～65℃	
カメラ		フロントカメラ	リアカメラ
	撮影素子	1/2.8 インチ CMOS センサー	1/2.9 インチ CMOS センサー
	総画像数	1080P（200 万画素）	1080P（200 万画素）
	レンズ画角	水平 104° 垂直 57° 対角 124°	水平 125° 垂直 67° 対角 145°
	F 値	1.8	1.8
	レンズ素材	ガラス 4E+IR	ガラス 4E+IR
記録映像サイズ		フル HD　1080P HD　720P	
GPS		あり	
G センサー感度		オフ/高/中/低	
記録方式		常時録画/イベント録画(衝撃/マニュアル録画)	
録画ファイル構成		1 分/2 分/3 分	
音声録音		オン/オフ可	
フレームレート		フロント 27.5fps　リア 25fps	
映像ファイル形式		TS	
記録映像再生方法		汎用ソフト/本体液晶	
記録媒体		micro SD カード(16GB～128GB Class10 以上)	

その他

液晶サイズ	10.88 inch　タッチパネル式
駐車監視	オフ・衝撃検知 （駐車監視はオプション機能･専用直接配線ユニットが必要）
取り付け方法	フロント：固定用バンド リア：両面テープ GPS ユニット：両面テープ
言語	日本語/英語他
操作音	オフ/音量調整可能
WDR	オン/オフ可
消費電力	約 7.2W
シガープラグコード長さ	約 3.5m
リアカメラケーブル長さ	約 8.5m
重量	フロントカメラ約 360ｇ リアカメラ約 40ｇ

保証

保　証　書

大切に保管してください		
製品名	ミラータイプライブレコーダー HM-061L	シリアル No(S/N)
お買い上げ日 保証期間	年　　月　　日　より 1 年間有効	
対象部品	フロントカメラ及びリアカメラ ※その他付属品を除く	
●お客様 お名前： ご住所： TEL： メールアドレス： ご購入時のご注文番号※		
●故障・修理内容（症状・状態・使用状況をお知らせください）		

※ご注文番号が不明の場合は保証対象外とさせていただきます
※購入者ご本人様のみ保証対象とさせていただきます。

お問い合わせ

製品のお取り扱い方法、交換・修理等に関するご相談は、下記弊社サービスセンターにご相談ください。
ただし、お客様への取り付けサポートは行っておりません。

株式会社 ヒガシ　TEL：052-398-5618
〒454-0902　名古屋市中川区花池町 2-55

保証規定

ご注意
・取扱説明書の内容に従った通常使用で不具合が発生した場合はご購入日より1 年間保証を受付いたします。 ・本体とリアカメラのみが対象となり、付属品・消耗品等は含みません。 ・保証をお受けになる場合は必ずご注文時の注文番号をご提示ください。 ・取扱説明書に掲載した使い方や注意事項を遵守しない場合は保証期間内でも保証いたしませんのでご注意ください。 ・購入者ご本人のみ保証対象とさせていただきます。転売・譲渡などにより入手された場合は保証対象外とさせていただきます。 ・本書に記載のある付属品や別売品以外は使用しないでください。それ以外を使用した場合の動作に関しては保証いたしかかねます。それによる本製品の故障は保証対象外になりますのでご了承ください。 ・商品や付属品の取り付けにかかる費用は保証対象外です。本機の不具合による保証を受ける場合の取り外し費用、取り付け費用も保証対象外となりますのでご了承ください。 ・お客様ご自身による故障は保証対象外になります。 ・本製品の取り付けによる車両の変色、変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。 ・保証書の再発行はいたしませんので大切に保管してください。 ・本製品の仕様、外観および説明書などは、諸事情により予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。 ・いかなる理由でも記録するデータの消失や破損は保証いたしません。 ・本機を取り付けたことによる、車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について、当社は一切その責任を負いません。 ・保証範囲は製品のご購入代金を上限として、その他お客様ご自身により発生したいかなる費用も対象外となります。 ・本製品の使用または使用不能・不良から生ずる二次的損害に関して、一切の責任を負わないものとしますので、予めご了承ください。 ・製品は日本国内仕様です。本製品の日本国外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

higashi